

### 金沢学院の職員、学生、生徒

# 大分国体で大活躍

## 相撲少年の団体・個人V

### 重量挙げ新谷 飛び込み中川 2冠



相撲の少年団体が優勝を決めた石川チームの大將遠藤選手（北國新聞社提供）



中川真依選手  
石川県勢として出場した金沢学院の

10月7日まで大分県で開かれていた第63回国体で、



77キロ級で2冠を獲得した新谷選手（北國新聞社提供）

職員、学生、生徒は相撲ウエイトリフティング、水泳飛び込みなどで上位に食い込む活躍を見せ、今年の北京オリンピックに3選手が出場するなどスポーツに強い学園の印象をさらに強くアピールしました。

相撲の少年は、東高校相撲部員が主力を務めて団体優勝し、個人も武田恭平選手が制しました。ウエイトリフティング

では、北京五輪に出場した新谷義人選手（職員）が成年77キロ級でスナッチ、ジャークとも優勝しました。河原祐輔、前田祥平選手（金沢学院大学）も各級で5位から7位に入賞し、同競技の総合2位に貢献しました。

## 全国学生バド選手権で3位

10月4日から金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで開かれた第59回全日本学生バドミントン選手権で、金沢学院大



中学教員対象に説明会

金沢学院東高校の学校説明会は十月一日の白山地区から順次行われました。このうち金沢、河北羽咋地区の中学教員を対象にした説明会「写真左」は十月七日に本校の多目的ホールであり、教育理念、学校の歩み、施設概要、コースの学習内容、入試の方法などを説明しました。石田毅士郎校長は「豊かな人間性を備え、社会に役に立つ人材に育てている」と話していました。

## 形や色で視覚に訴える

### 美術文化学 部公開講座 曲線が持つ美しさ解説

金沢学院大学美術文化学部の公開講座「形が発する情報」は十月八日、金沢21世紀美術館で開かれました。高屋喜久子准教授と、コニカミノルタテクノロジセンターのタテクノロジセンターの二瓶一裕氏が、形や色が視覚に訴える力、図形や曲線の持つ美しさや魅力について講義しました。高屋准教授は、キアラ



美術文化学部の公開講座で講義を行う高屋准教授  
「金沢21世紀美術館」

こと設計が楽になることも紹介しました。**江戸期の料理再現へ** 土曜大学で陶教授

金沢学院大学基礎教育機構の土曜大学は十月四日、2号館で開かれ、陶智子教授が「金澤料理秘伝帖」のテーマで講義を行いました。写真左。



金沢城の復元画展 金沢学院大学美術文化学部の末松智講師の「金沢城復元画展」写真左は九月三十日から十月十二日まで、金沢市広坂の石川国際交流サロンで開かれ、シャープペンシルで精細に描いた辰巳櫓や本丸の三階櫓などが展示されました。また、学生時代に描いたオーストリアの城の絵も披露されました。



発行・広報室